

<<本学が「フェアトレード大学」に認定されました>>

札幌学院大学は、2019年10月12日付けで北星学園大学とともに国内で第2号(北海道内第1号)となる「フェアトレード大学」に認定されることが決まりました。

➡「フェアトレード」とは？

コーヒーや紅茶など、途上国で生産された日用品や食料品が、日本で驚くほど安い価格で販売されていることがあります。一方生産国ではその安さを生み出すため、正当な対価が生産者に支払われなかったり、生産性を上げるために必要以上の農薬が使用され環境が破壊されたり、生産する人の健康に害を及ぼしたりといった事態が起こっています。

おいしく質の良いものを作り続けていくためには、生産者の労働環境や生活水準が保証され、また自然環境にもやさしい配慮がなされる持続可能な(SDGs)取引のサイクルを作っていくことが重要です。



Fair Trade とは直訳すると「公平・公正な貿易」。つまり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいいます。

国際フェアトレード基準

国際フェアトレード基準は、経済的基準、社会的基準、環境的基準の3つの柱から成り立っています。フェアトレード参加組織に対し定期的を実施される監査では、原料の生産から輸入、製造を経て完成品となるまでの各工程で基準が遵守されているかをチェックしています。



国際フェアトレード認証ラベル

札幌学院大学も教育を通して SDGs へ貢献していくことを目指しており、国連が掲げる SDGs(持続可能な開発目標)とも合致します。これまで学内外で取り組んできた教育・研究活動が評価され、このたび北星学園大学とともに「フェアトレード大学」に認定されることが決まりました。

本学では学生が中心となってフェアトレード推進活動に取り組み、学内外でフェアトレード普及キャンペーンを実施してきました。結果、2019年1月に経営学科の橋長ゼミ・経営学部学生自治会・学長によって「札幌学院大学フェアトレード大学憲章」を策定・発表し、4月に「一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム」にフェアトレード大学認定を申請。9月3日に認定が決定、10月12日に認定証授賞式が行われました。



今後は、学生のフェアトレードサークルが中心となり、学内外のフェアトレードの普及・啓発活動を行い、「学内認知度 100%」を目指すとともに、くフェアトレードの意義を伝えていきます。



国際交流のホームページもご覧ください！

<http://www.sgu.ac.jp/iec/>



 Instagram sgu_global

